

織田作之助賞受賞作一覧（1984～2023年）

1983年10月26日 織田作之助賞(公募、新人対象)創設

●第1回から第22回

- 1984年 第1回 該当作なし
- 1985年 第2回 中条孝子「どれあい」
- 1986年 第3回 福岡さだお「犬の戦場」
- 1987年 第4回 長谷川憲司「浪速怒り寿司」
- 1988年 第5回 田中香津子「気流」
- 1989年 第6回 合田圭希「にわとり翔んだ」
- 1990年 第7回 笠原靖「夏の終り」
- 1991年 第8回 鈴木誠司「常ならぬ者の棲む」
- 1992年 第9回 柏木春彦「切腹」
- 1993年 第10回 大西功「ストレイピン特急―越境者杉本良吉の旅路」
- 1994年 第11回 該当作なし
- 1995年 第12回 植松二郎「春陽のペリーロール」
- 1996年 第13回 該当作なし
- 1997年 第14回 小林長太郎「夢の乳房」
- 1998年 第15回 上川龍次「ネームレス・デイズ」
- 1999年 第16回 水木亮「祝祭」
- 2000年 第17回 該当作なし
- 2001年 第18回 小森隆司「押し入れ」
- 2002年 第19回 三田華「芝居茶屋」
- 2003年 第20回 該当作なし
- 2004年 第21回 該当作なし
- 2005年 第22回 松嶋ちえ「眠れぬ川」

2005年、賞を改定し、織田作之助賞と織田作之助青春賞の二本立てに

■織田作之助賞(推薦)受賞作一覧

●第23回から既刊の単行本(ジャンルは小説、評論、エッセー)対象

- 2006年 第23回 柴崎友香 『その街の今は』
庄野至 『足立さんの古い革靴』
- 2007年 第24回 西加奈子 『通天閣』
小玉武 『「洋酒天国」とその時代』
- 2008年 第25回 玉岡かおる 『お家さん』
- 2009年 第26回 中丸美繪 『オーケストラ、それは我なりー朝比奈隆 四つの試練』

●第27回から既刊の単行本(新鋭・気鋭作家の小説)対象

- 2010年 第27回 金原ひとみ 『TRIP TRAP(トリップ・トラップ)』
- 2011年 第28回 津村記久子 『ワーカーズ・ダイジェスト』
- 2012年 第29回 いいしんじ 『ある一日』
- 2013年 第30回 小山田浩子 『工場』
- 2014年 第31回 朝井まかて 『阿蘭陀西鶴』
藤谷治 『世界でいちばん美しい』
- 2015年 第32回 堂垣園江 『浪華古本屋騒動記』
三浦しをん 『あの家に暮らす四人の女』
- 2016年 第33回 崔実(チェ・シル) 『ジニのパズル』
- 2017年 第34回 古谷田奈月 『リリース』
東山彰良 『僕が殺した人と僕を殺した人』
- 2018年 第35回 井上荒野 『その話は今日はやめておきましょう』
- 2019年 第36回 窪美澄 『トリニティ』
- 2020年 第37回 温又柔 『魯肉飯(ロバブン)のさえずり』
- 2021年 第38回 岸政彦 『リリアン』
- 2022年 第39回 滝口悠生 『水平線』
- 2023年 第40回 乗代雄介 『それは誠』

■織田作之助青春賞(公募)受賞作一覧

●第23回から織田作之助のデビュー年齢と同じ24歳までの新人対象

2006年 第23回 該当なし

佳作:久野智裕「一セントコインの女」、土屋三奈「リフレインリフレイン」

2007年 第24回 緒野雅裕「天梯」/佳作:宮規子「魚は水の中」

2008年 第25回 小笠原由記「Innocent Summer」/佳作:深山あいこ「ユメノシマ」

2009年 第26回 島谷明「マニシェの林檎」/佳作:木田肇「換気扇」

2010年 第27回 香川みわ「おっさん」/佳作:森田弘輝「逃げるやもりと追うやもり」

2011年 第28回 柊(ひいらぎ)「コンシャス・デイズ」/佳作:中野沙羅「フリーク」

2012年 第29回 滝沢浩平「ふたりだけの記憶」/佳作:未来谷今芥「アイランド2012」

2013年 第30回 藤原侑貴「通りゃんせ」/佳作:岡田美津穂「橋の下と僕のナイフ」

2014年 第31回 柳澤大悟「ジンジャーガム」

2015年 第32回 犬浦香魚子「はきだめ」

2016年 第33回 中野美月「海をわたる」

2017年 第34回 馬場広大「みかんの木」

2018年 第35回 川勝浩人「ママの犬」

2019年 第36回 丸井常春「檻の中の城」/奨励賞:楊美裕華「ざまあおぼろげ」

2020年 第37回 三浦育真「夜明珠(イエミンジュ)」/奨励賞:土岐咲楽「木香(きが)」

2021年 第38回 松尾晴「母を迎える」

2022年 第39回 菊池フミ「浴雨(よくう)」

2023年 第40回 石澤遥「とんぼ」

■織田作之助 U-18 賞(公募)受賞作一覧

2014年、青春賞に付随して中学・高校生を主とした18歳までの賞を新設

2019年より、青春賞と合併し、18歳以下の優れた作品は奨励賞として顕彰

2014年 第31回 中原らいひ「池から帰るふたり」

2015年 第32回 烏月にひる「パチンコ玉はUFO、ブルーのビー玉は地球」

2016年 第33回 浅田紗希「思い出屋と私」

2017年 第34回 吉田菜々穂「サイコロバレンタイン」

2018年 第35回 織田香音「夏が死ぬ」